



「DGZ I-Japan 認定歯科技工士」に認定



左：増山崇俊 中：宗村裕之 右：菊地栄二

弊社代表の宗村裕之、補綴第二課課長の増山崇俊、補綴第三課課長の菊地栄二の3名が「DGZI-Japan認定歯科技工士」に認定されました。当認定はインプラント技工に対する深い経験と知識を有した者にのみ与えられる認定であり、年々増加するインプラント関連技工に十分お応えする事が可能であることを証明するものです。これからも地域の患者様の為、歯科医療の発展の為に尽力する弊社の姿勢とこだわりをご理解頂ければと思います。

弊社にてリニューアルをお手伝いしました国際インプラント学会のホームページをご参照ください。認定歯科技工士のみならず、認定歯科医師、認定歯科衛生士の情報も掲載されています。

DGZIはヨーロッパで最古最大の規模を誇るインプラント学会であり、DGZI-Japanはその日本支部となります。詳細は



国際インプラント学会ホームページ <http://www.iai-japan.jp/>

C-1 Carving contest Grand Prix

新春の恒例社内行事として、カービング(carving：石膏彫刻)のテクニックを競う「C-1グランプリ」が社内にて開催されました。本年は、社内投票により選出された優秀作品を1つ、更には上位7名の作品を歯科医師様数名(ランダムに選出)に見て頂き、歯科医選出優秀作品を選出、また、義歯課と補綴課の技術内容の違いから、義歯課優秀作品も社内にて選出し、計3名に記念品が授与されました。今回の結果に気付かされる事は、歯科医師と歯科技工士とでは選出対象、即ち着眼点が違うという事。どの様な違いがあるのか、検証する価値はあると思います。



ACL優秀賞受賞者 主任 北詰浩久(右)



歯科医選出 優秀作品



ACL選出優秀作品



義歯課優秀作品

群馬県歯科医学会 総会・学術大会 群馬デンタルショー

2011年1月29日、30日に高崎市問屋町のピエント高崎にて「平成22年度 群馬県歯科医学会 総会・学術大会」及び「群馬デンタルショー」が開催されました。ブローネマルク教授に直接師事し、国内で初めてインプラント治療を導入された小宮山 彌太郎(こみやま やたろう)先生による特別講演「今思う、インプラント治療への警鐘」を目玉として、様々な著名な先生方の講演が執り行われました。弊社の営業課長である遠藤もこの講演会にて「CAD/CAMによるスクリュー固定式インプラント補綴」を演題として講演致しました。二日間を通しての来場者は、歯科医師300名、歯科衛生士169名、歯科技工士52名で、合計521名となりました。



企業展示の様子



営業課長遠藤隆雄による講演

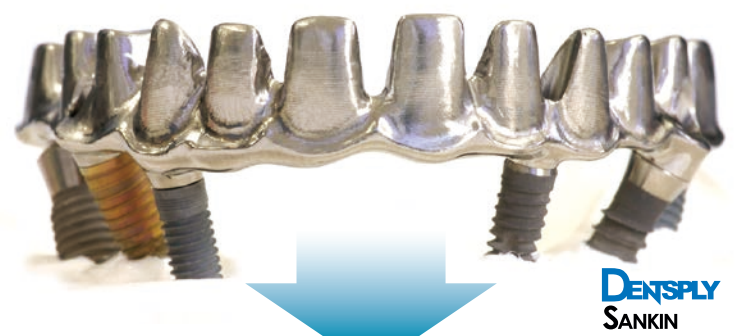


より高精度で高品質な技工物を——
足利セラミックラボラトリーでは、歯科医療現場のニーズにお応えするべく、いち早く様々なメーカーの歯科用3次元CAD/CAMを導入しております。

匠の技と科学の融合—— 私たちの技術は、最新機器による科学との融合により、更なる飛躍を目指しています。



Compartis ISUS™ —— アイサス



埋入角度自由
システム混在可能
アバットメント不要

対応インプラント一覧		
Straumann	ZIMMER	BIOMET 3i
NB replace	POI-EX	ASTRA
Branemark	Camlog	SPI
ScrewVent	SwissPlus	Platon
NobelActive	Spline	etc...

※アイサス(ISUS)は三金ラボラトリーのシステムです。
※模型診断で禁忌症の場合もあります。